

広報

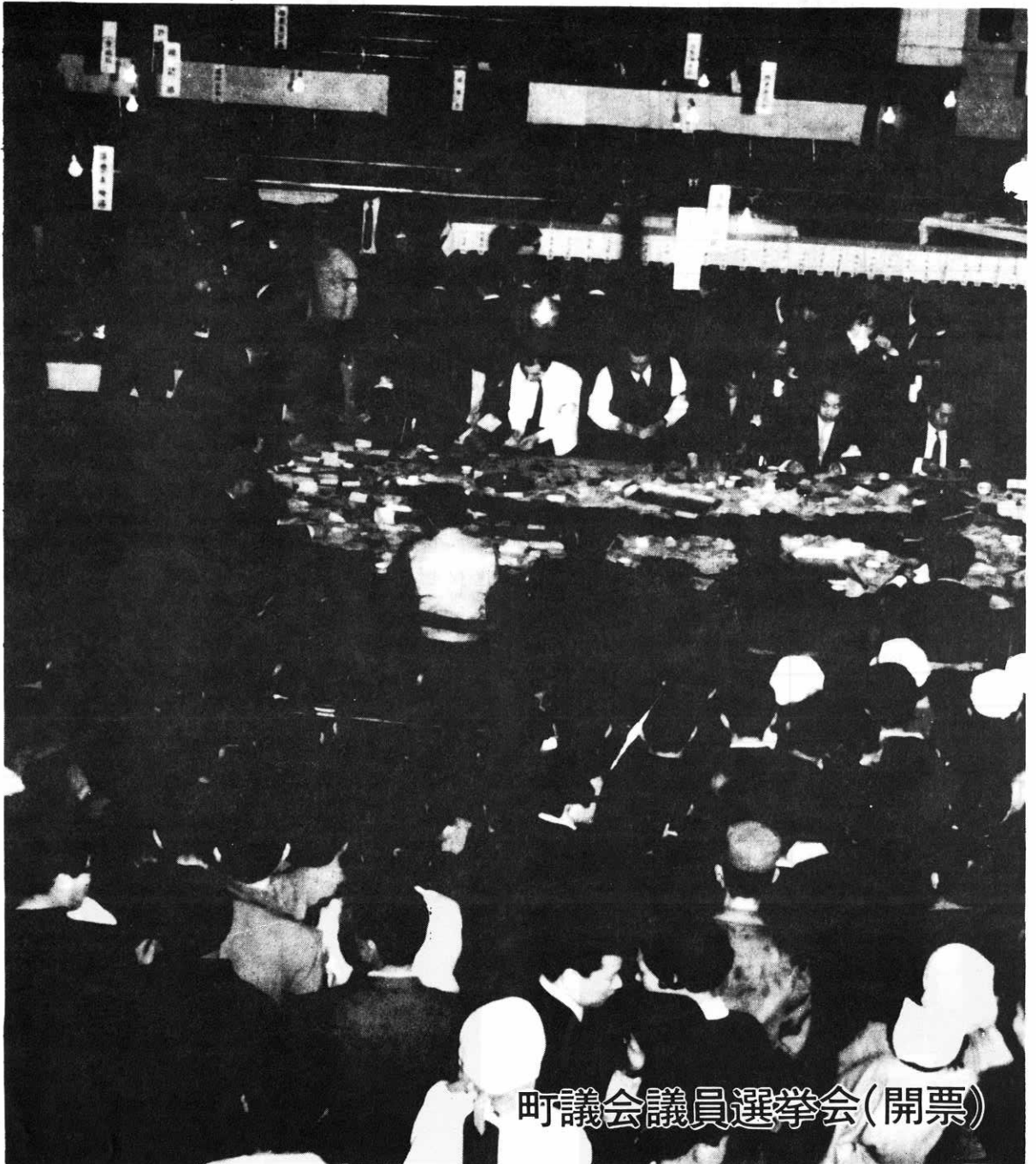
第三種郵便物認可 昭和44年5月14日



たかのす

◆発行所 秋田県北秋田郡鷹巣町役場
☎(01866) 2-1111
◆編集 総務課秘書係
◆発行部数 6,700部
◆毎月1日・15日発行
◆頒価10円 ◆郵便番号018-33
◆印刷所 (株)秋北新聞社

№.236・4・1



町議会議員選挙会(開票)

新選良三十人きまる

投票率は90.42パーセント

町議会議員選挙投票結果調

区分 投票区	当日の 有権者数	投票者数	棄権者数	投票率
鷹巣東	2,654	2,387	267	89.94
" 西	1,711	1,538	173	89.89
" 南	1,179	1,062	117	90.08
" 北	1,646	1,500	146	91.13
当	557	499	58	89.59
太田	401	383	18	95.51
掛泥	755	679	76	89.93
綴子	1,093	979	114	89.57
田子ヶ沢	215	201	14	93.49
岩谷	134	118	16	88.06
糠沢	625	582	43	93.12
田中	544	512	32	94.12
坊沢	1,094	1,003	91	91.68
緑ヶ丘	344	299	45	86.92
黒沢	114	100	14	87.72
今泉	419	392	27	93.56
前山	428	384	44	89.72
坊山	163	142	21	87.12
小森	481	413	68	85.86
、口	500	446	54	89.20
川口	243	220	23	90.53
七日市	1,060	950	110	89.62
竜森	253	230	23	90.91
葛黒	294	262	32	89.12
明利又	197	184	13	93.40
合計	17,104	15,465	1,639	90.42

任期満了による町議会議員選挙は、三月二十九日行なわれ、午後七時半から鷹巣町公民館で即日開票の結果、現議員十三人元議員一人、新議員六人の当選がまりました。

当日は、初めての平日選挙のため投票率が心配されましたが、九上、四二%の投票率でした。

新しく当選した議員は、わたくしたちの代表としてこれから四年間、住みよい町づくりのため町議会のなかで活躍することになります。

開票結果は次のとおりです。

▽投票総数 一万五千四百六十一票

▽有効票 一万五千四百七票

▽無効票 五十四票

▽投票率 九上・四二パーセント

当 成田 稔 58無元一・二六七・五票

当 永井 与蔵 44無現 六八五票

当 村上儀八郎 56無現 六〇八・二票

当 佐藤 輝雄 48無現 五七一・二票

当 久留島清吉 43社現 五六三票

当 高橋祐三郎 43共現 五六〇票

当 花田大四郎 59無新 五六〇票

当 佐藤 勇 52無現 五五一票

当 藤原 愛 60無現 五三四票

次 大川 清孔 45無新 一四〇票

成田 久蔵 62無新 二四〇・一票

三沢修之助 65無現 二七五・四票

佐藤 雅道 40無現 三〇八・一票

佐藤 達雄 49無現 三二二・一票

成田 保雄 42無現 三二六・一票

小坂 惣一 65無現 三三六票

小松 豊 51無現 三四二票

吉岡 重悦 32無新 三四三票

佐藤 吉美 41無新 三八一・一票

中島 源蔵 44共現 三九六・九票

長岐 茂雄 49無現 四〇〇票

渡辺 政雄 40共現 四二二票

武田佐市郎 46無新 四三二票

篠内 政雄 56無新 四三五票

今川清太郎 34無現 四四六票

佐藤 嘉美 47無現 四四六・二票

沢田 良治 51無現 四六六・二票

村上 義 37無現 四七五・七票

三沢 実 44無現 四九〇・七票

武藤 完一 58無現 四九五票

間瀬 久蔵 55社現 五一四・六票

今野 実 39公現 五二二・三票

清水 修智 38無現 五二五票



選挙会(開票)を見守る参観者



当選おめでとうございます

成田

稔

花田大四郎

今野

実

沢田一義

渡辺茂雄

小松惣一



永井与蔵

高橋祐三郎

間淵久蔵

佐藤嘉美

長岐源蔵

小坂保雄



村上儀八郎

佐藤勇

武藤完一

今川清太郎

中島吉美

成田達雄



佐藤輝雄

藤原愛

三沢実

篠内政雄

佐藤重悦

佐藤雅道



久留島清吉

清水修智

村上良治

武田佐市郎

吉岡興

佐藤勉



コンクール

一般 成田 端



鷹巢中二年 横脇 裕子



竜森小一年 島山まゆみ



綴子小五年 三沢久美子



中央小二年 三國栄一郎



綴子小三年 相馬 牧子



鷹巢小四年 佐々木順子



小学校最優秀作

オルガンひきのペレス

中央小学校六年 中島 明子



オルガンひきでは、この世にたつたひとりしかいないというほどの名人、ペレス老人を主人公にした物語である。

わたしの家には祖父がいない。そのせいかやさしいペレス老人にひどく親しみを感じた。ペレス老人は、セピリアという町の小さな教会で、毎日オルガンをひいている。それを聞きに町じゅうの貴族や貴婦人がやってくる。ペレス老人は、以前から大司教様にセピリアの大寺院へくるよう、さそわれていた。大寺院で演奏することは、まさに最高の名譽とされていたのである。音楽家になると、だれしもが、この大寺院で演奏することにあこがれていた。しかし、真に音楽を愛した老人は、大寺院での演奏を断わり続けてきた。愛用のオルガンからは、はなれたくなかったのである。ペレス老人は、もともと、そういう人であった。欲がなく、しかもやさしくて、神様のような人だつたのだ。そのペレス老人がみんなに惜しまれながらこの世を去ってしまった。

ところが、もうひとりの音楽家であるが、目男のその欲の深さ。「ペレス老人のつめのあかをせんで飲め。」と、つい言いたくなるような人間なのだ。そのが目男は、ペレス老人に代わり、オルガンをひく

ことになった。ペレス老人とは、比べものにはならないほど、オルガンひきがへたなうえに、よそのオルガンひきは、口を言ったり、へんにえらぶってはみんなをあざけつたり、全く人間として評判がよくなかった。でも、そんなが目男が大司教様のいる前で、みごとにオルガンをひき、大寺院に行くことになった。この男は、地位と欲に目がくらんでしまったのだ。音楽どころか、初めから、大寺院へ行き、そして、名譽だけが目的だったにちがいない。それにしても、どうしてへたなはずの男がじょうずにひけたのだろうか。

すが目男が大寺院に行つてしまつた後の小さな教会のクリスマスには、ペレス老人の娘がオルガンをひくことになった。そのクリスマス晩のことだ。ひこうとした時である。なんと、ひとりではオルガンは、鳴り続けていのである。それは、まさしくペレス老人の魂であった。

そのころ、大寺院に行つたが目男は、大司教様のこきげんをすつかりそねっていた。あの時、じょうずにひけたのは、ペレス老人の魂がひいていたからなのだ。ペレス老人にとって、オルガンは、たつた一つの生きがいであり、心だつたのだ。ペレス老人の魂は、いつまでも、サンタ・イネス教会に、生き続けることだろう。

人間は、だれもが欲を持っていると思う。だが、決して、欲におぼれずに、オルガンを愛し、それを生きがいとしたペレス老人は、真のしあわせを味わうことができた人だと思つた。わたしは、ほんとの幸福は、決して、地位と金だけで得られるものではないということをつくづく考えさせられたのである。

第7回読書感想文コンクールの表彰式が三月十二日公民館で行なわれました。読書感想文を寄せたかたは小学校百九十七点、中学校八十五点、一般八点あわせて二百九十点の多きになりました。作品は、いきいきした文のものが多く審査にあつた先生方も選考に苦労したと語っていました。

表彰された方は次のとおりです

最優秀作

(小学校) オルガンひきのペレス……………中央小学校六年 中島 明子

(中学校) 高瀬 舟……………鷹巢中学校一年 加藤 元

(一般) 「忍ぶ糸」―伊賀の女の物語― 鷹巢町末広町 成田 瑞

優秀作

(小学校) おおかみ王ロボ……………綴子小学校五年 三沢 久美子

(中学校) 若きウェルテルの悩み……………鷹巢中学校二年 嶺脇 裕子

各学年最優秀作

かたあしだちのエルフ……………竜森小学校一年 島山 まゆみ

かさこじぞう……………中央小学校二年 三國 栄一郎

グビーよみてごらん……………綴子小学校三年 相馬 牧子

文想感書続

小公女
走れ、はやて
祖国へのマズルカ
童話と人間
住作

このはきよろきよろ
ふうたのゆきまつり
ジャックよかつたね
コンチキ号の標流
安生五年七月十一日
ケネディへ
「野にさけぶ人」を読んで
「ビルマの竖琴」を読んで
ヨットと少年

鷹巣小学校五年 佐々木 順子
鷹巣小学校六年 河田 香奈美
鷹巣小学校一年 戸田 研一
鷹巣中学校一年 佐々木 鉄子
鷹巣中学校二年 戸田 晶子

東小学校一年 藤島 みえこ
鷹巣小学校二年 花田 祐生子
東小学校三年 藤島 純子
南小学校四年 山城 史幸
鷹巣小学校五年 阿部 由加
竜森小学校六年 山田 幸一
鷹巣中学校一年 照内 直光
鷹巣中学校二年 沢木 寿美子

一般 橋本 みや

鷹巣小五年 河田 香奈美



鷹巣小六年 戸田 研一



鷹巣南中一年 佐々木 鉄子



鷹巣中二年 戸田 晶子



中学校最優秀作

高瀬 舟

鷹巣中学校一年 加藤 元



「幸福」それは人間ならば、だれしも求め続けているものである。人によってねがう幸福はちがうだろうが、しかし、その人間の本当の幸福とはいったい何か、そしてそれはどこにあるのだろうか。こんなことを考えさせてくれたのが森鷗外の高瀬舟である。

それはある春の夕ぐれ、罪人といふことで護送される高瀬舟の上で天命に安じているような姿の喜助と、それを不思議そうに見ている同心の羽田庄兵衛や、兄喜助のるすに自殺を試み死にきれずにいる時の弟の姿などを通してそれぞれの人間として求めている幸福がえがき出されている。高瀬舟とは、遠島の罪を申し渡さ

れた。が京都から高瀬川を下って大阪へ護送される時に使う小舟のことである。

喜助はその、高瀬舟に弟殺しといふことで護送役の京都町奉行所の同心、庄兵衛が梶をとるうち、大阪へ向かっていたのである。

元来、高瀬舟とは、川を下りながら罪人とその親類の者とが夜どうし身の上を語り合うといった悲惨なものである。しかし、この罪人喜助の場合にはちがっていた。小さい時に、両親が悪疫でなくなり親類がなかったため、舟にもひとり乗った。その喜助は少しも悲しげらず、いかにも楽しそうに遊山船にでも乗っているような顔をしていた。

これを見ていた庄兵衛が不思議に思うのも察しがつく。仔細を尋ねると

「ご親切におっしゃってください、ありがとうございます。なるほど島へ行くといふことはほかの人に悲しいことではございません。その心持ちはわたくしにも思いやってみることができます。しかし、それは世間で楽をしていた人たちだからでございます」と答えたが、これにはこれなりの理由があった。

喜助にとっては島へ出されたほうがずっと幸福だったのだ。喜助にしてみれば弟とふたりだけの今までの暮らしがいかに苦しく貧しかったか測りしれないものであったのである。

喜助は遠島に出される者がだれでももらえる銭、二百文をもらったことに生まれて初めて満足を感じたのである。もし、ばくがこの喜助と同じ立場にあつたらそのような満足を感じる事ができたのだろうか。喜助のように幸福を感じることができたろうか。疑問である。それにしても

喜助には欲がない。人は、後から、後から、今現在よりも、先へ先へと終わりのない階段をのぼるかのようになっているが普通だ。そう思うのがあたり前ではないだろうか。それが喜助にはまったくない。欲が出ないであろうか、出さないのであろうか、目の前での欲望をふみとめてしまおうのが喜助である。これには感心したらしいのか驚いたらいいのかもしれない。

また、役人庄兵衛の方も自分の煩雑な家庭生活を喜助と比較しながら反省しているようだ。

最後にこの小説でいちばん問題となる点は喜助の行ないが弟を殺したといふ殺人の罪に値するかどうかということだ。

喜助の弟は、貧苦な生活と兄の喜助の思いやりになえられなくなり自殺をはかったが、死にきれないでいる弟を見かねて、請われるままのどにさざっている刀をぬいてやったのである。しかし、そのため弟は死んだ。苦しがついている弟を助けて死なせてやったのだ。人を殺したにはかわりはないかもしれない。しかし、ここに死が迫り苦しんでいる人がいたならば、その苦しみから一刻も早く救ってやろうと思うのは、人ならばだれでも起こる情ではないだろうか。

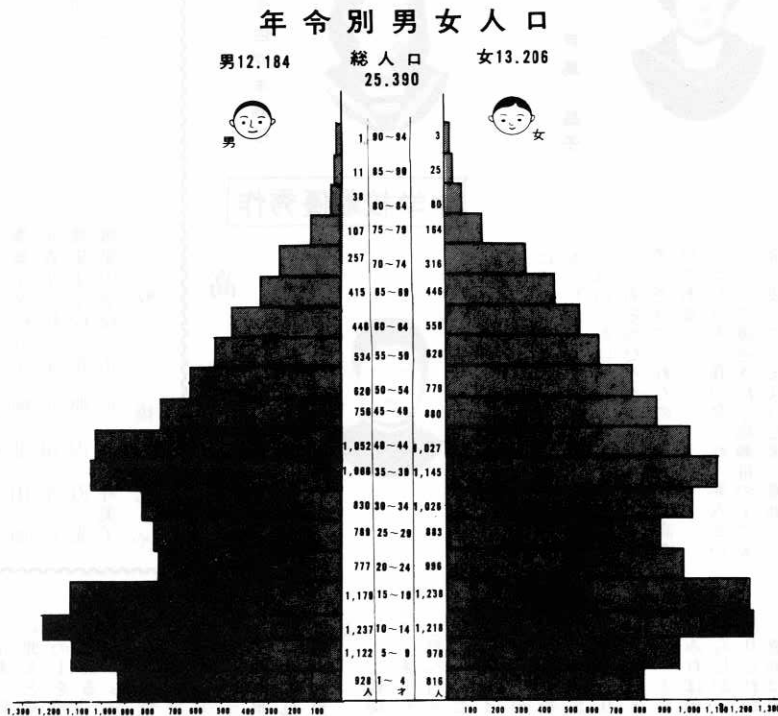
今、ここに死に接して苦しんでいるものがいたならば、その死を苦しませてやるべきか、どうせ、死ぬのならむしろ死に導く薬を手えて安楽に死なせてやるべきか。ここに、人の死と人の情との間にどうすることもできない深い隔たりを強く感じないではいられない。短い小説からある人生の旅のひとこまを見る事ができたと思っている。

昭和45年国勢調査から ＝人口の実態はこうです＝

町民各位のご協力をいただきました45年国勢調査結果がこのほど国の総理統計局から一部速報で発表になりました。

国勢調査は5年に1回10月1日を期して行なう国のもっとも基本的な調査です。

これにより人口、性別、年齢構成、職業、人口の地域分布などを明らかにし、行政に役立っています。そこで発表になりました結果から一部をひろってみました。



産業別就業人口

産業分類	雇用者	役員	雇人のある業主	雇人のない業主	家族従業者	計	構成比
農業	71	2	9	1,975	3,237	5,294	39,34
林業・狩猟業	569	—	7	7	5	588	4,37
鉱業	59	2	8	1	3	73	,54
建設業	811	24	68	172	41	1,116	8,29
製造業	1,056	42	46	79	78	1,301	9,67
卸売業・小売業	929	56	154	353	469	1,961	14,57
金融・保険業	187	4	1	3	1	196	1,46
不動産業	4	2	—	6	1	13	,09
運輸・通信業	603	10	4	13	6	636	4,73
電気・ガス・水道業	32	—	1	—	1	34	,25
サービス業	1,408	22	89	244	110	1,873	13,92
公務	365	—	—	—	—	365	2,71
分類不能産業	3	—	—	2	3	8	,06
計	6,097	164	387	2,855	3,955	13,458	100%

人口

45年国勢調査における鷹巣町の人口は25,390人で、秋田県の人111,241,376人に占める割合は2.05%となっています。

男女別年齢（5歳階級）別人口

性別構成では、男子人口12,184人、女子13,206人で、男は女に比べ1,022人少なくなっています。

年齢人口構成では、10歳～14歳の2,455人、15歳～19歳の2,417人を頂点に最低の80歳以上は158人、また1歳～4歳は1,744人と波状を形成しています。



実施中 春の交通安全運動

こどもの事故をみんなでふせごう

四月一日から十五日までの十五日間、全県一斉に「春の交通安全運動」が実施されています。

この運動は、新入学期を迎え、子どもを悲惨な交通事故から守るため、とくにスクールゾーンとくにこどもの安全を図る特定地域を特定するとともに新入学児童、園児（保育園児を含む）に対し、正しい通行を身につけさせるための交通安全の指導と、街頭保護を強化し、運転者も地域住民もこどもの安全に注意して、町民総ぐるみでこどもを交通事故から守りましょう。

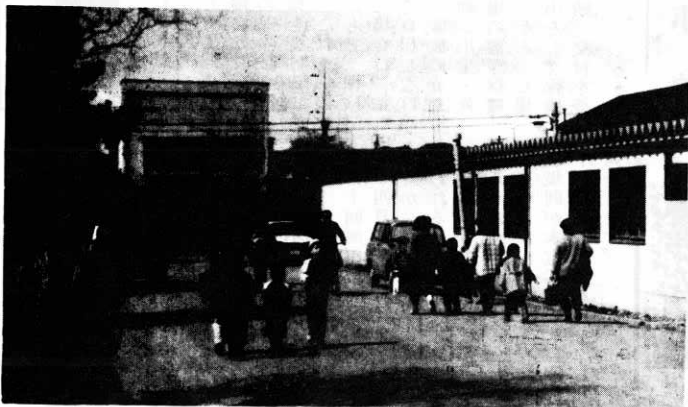
（運動の重点）
 ▼スクールゾーンの設定
 ▼子どもと保護者に対する交通安全指導

こどもの安全を絶対優先させるといふ立場に立ち、スクールゾーン内は、こどもの事故発生の危険性の高い地域として認識を高め、とくに慎重な運転を行なう。また、地域住民は事故対策の重点地域として安全な環境づくりに努め、町民総ぐるみでこどもの交通事故防止を図るものです。

（重点実施事項）
 ▼通園、通学路の点検と安全施設整備

▼路上不法占用物の排除
 ▼街頭指導と広報車による交通安全の広報
 ▼交通取締りは歩行者保護を重点とし、違反車輛に対する指導を強化する、などを重点的に行なうことになっていきます。

横断歩道は手をあげて
 こどもの事故を未然に防ぐため、路上遊干や危険な状態をみたら、みんなで声をかけあい、こどもを交通事故からまもってやりましょう。



歩行者の安全確保
 明では、歩行者の安全確保のため、町道の一部に路側帯を設けました。
 路側帯は、歩道が設けられてない道路の路端寄りの部分で、「道路標示（白線）」によって車道と区別したもので、路側帯のある道路では、歩行者はその路側帯を通行することになります。



新入学（園）児童を交通事故からまもりましょう

こんな歩き方は事故のもとです。道路の右側を歩きましょう。

役場からのお知らせは広報で

＝チラシや通知(一部)は廃止＝

「広報たかのす」は毎日2回1日、15日を定期発行日として、町で行なう諸行事等をお知らせしています。

これまでの、ほかにそれぞれの課や係ごとに別々にチラシや通知類を発送していましたが今後は、緊急事項以外は広報でお知らせし、通知書は発送いたしませんのでご面対でもあなたのお宅に広報が届いたら「お知らせコーナー」にはかならず目をとおして赤線をひくとか、書きとっておくなど工夫してご利用くださるようお願いいたします。

お知らせ コーナー



予 防 接 種

四十六年四月一日から十二月三十一日まで生れた赤ちゃんに、小児マヒ生ワクチンの投与を行ないます。

鷹巣地区以外の方は、五日鷹巣地区の方は六日となっております。

時間は、いずれも午後一時三十分から午後三時まで鷹巣公民館で行ないます。

健 康 相 談

四月の健康相談日は、十日(月)と二十日(木)の二回です。

午前十時から午後三時まで役場一階相談室で行ないますので、気軽においでください。

国民健康保険 新しい保険証に

国民健康保険が、四月一日から新しい保険証になりました。

いままでの保険証は、三月三十一日で使用できません。新しい保険証は、協力員にお願いして旧保険証と交換してありますが、まだ取替えていない方は、役場保険係の窓口で

お忘れなく交換してください。一世帯に一保険証が交付されていきます。この保険証を医師に提示して診察を受けることになっており、これを保険診療といえます。もし、保険証なしで診察した場合は、治療費を全額自分で負担しなければなりません。家族のかたにいろいろな異動(出生・死亡・転出入・職場の健康保険に加入脱退など)があった場合には、すぐ届出をして保険証の訂正や、返納、交付を受けてください。

交 通 事 故 相談所の利用を

交通事故の被害にあい、手続きがわからないために正當な補償が得られないで悩んでいる被害者のために、交通事故相談所を設け、毎日相談に応じておりますので、気軽にご利用ください。

相談所は、北秋田総合庁舎福祉事務所に置いています。

町 長 面 会 日

町政についてのご意見、ご質問などいろいろお聞かせください。

四月の町長面会日は、四月十八日です。

午前九時から十二時まで役場二階応接室で行ないますのでお気軽においでください。

移動町民室も随時行ないますので、ご希望の地区(部落)は総務課秘書係へご連絡ください。(電話でも結構です)

河 田 杯 マ ラ ソ ン

第十回河田杯マラソン大会は、四月二十三日(土)午後一時から役場前スタートで行なわれることになりました。競技は、中学、高校、一般にわかれ行なわれることになっていますが、コースなど競技規則が未定ですので、四月十五日付広報でくわしくお知らせします。



3月1日〜3月15日

誕生おめでとうございます

- 岩本研二(誠悦二男) 松葉町
- 齊藤紀文(富雄二男) 下町
- 畠山陽子(寿一長女) 李岱
- 小塚和弘(正一長男) 堂ヶ岱
- 成田寿子(稔 長女) 東旭町
- 木村幸子(杉雄長女) 今泉
- 中島洋紀(力蔵長女) 小ヶ田
- 土佐 享(恒治長男) 南鷹巣
- 藤原 聡(孝二男) 根木屋敷
- 花田隆子(隆一長女) 脇神
- 藤本弘栄(広繁四女) 松沢
- 米沢典子(吉満長女) 米代町
- 武藤和志(功 二男) 森館町

二人の前途を祝福します。312

大 場 清	河 田 信	高 橋 則子	出 川 義之	佐 藤 春治	戸 沢 静子	佐 藤 次男	佐 藤 美佐子	堀 井 昭一	金 野 信秀	真 野 信子	中 島 優子	中 島 慎恵知	古 田 美穂	齊 藤 一	出 川 一子	久 留 島 正夫	久 留 島 恵子	工 藤 義哉	長 谷 川 悦子	岩 川 市郎	野 呂 フデ	松 田 衛	鈴木キクエ	鈴 木 金蔵	武 田 六郎	土 佐 享	戸 沢 八ナ	松 野 ナリ	伊 藤 信雄	佐 藤 ハル	長 崎 キエ	照 内 ハナ	桜 庭 チョ	成 田 フツ
東 京 都	太 平 町	上 野 町	鎌 沢 町	東 住 吉	材 木 町	高 野 尻	堂 ヶ 岱	西 仲 通	静 岡 町	川 口 町	秋 田 市	旭 町	田 代 町	東 横 町	東 横 町	東 横 町	東 横 町	花 輪 町	太 田 町	仲 山 町	前 山 町	旭 町	下 町	上 町	三 ノ 渡 町	南 鷹 巣 町	前 山 町	大 町	舟 見 町	坊 山 町	羽 立 町	太 田 町	蟹 沢 町	米 代 町